

にいかっぷ

HOKKAIDO NIIKAPPU TOWN

議会だより

2011.8 / 発行

No.185

第2回定例会



- ▷ 定例会の日程について 2P
- ▷ 一般質問 / 7議員が11項目を問う 3P
- ▷ 審議した議案
 - ／平成23年度補正予算 8P
 - ／追加議案 9P
- ▷ 活動状況等
 - ／各委員会の活動状況 11P
 - ／北海道町村議会議員研修会 11P

第13回 ふれあい家族交流会

7月3日、開町130年・町制施行50年記念事業として、ふれあい家族交流会が特別養護老人ホーム恵寿荘で開催され、晴天の中、入所者とそのご家族が一同に会し、昼食や余興などを楽しむ一時を過ごしました。

入所者の皆さんにはいつまでも元気に長生きしてほしいと思います。

平成23年 第2回

定例会

会期 6月14日～17日 (実質審議2日間)

- ◆学校教育の推進
 - ・ 確かな学力の育成
 - ・ 豊かな心身の育成
 - ・ 信頼される学校づくり
 - ・ 学校経営の充実
 - ◆新冠町立認定こども園ド・レ・ミの教育・保育
 - ・ 地域に開かれ、協働する園経営
 - ・ 生涯学習の機能を生かす教育
 - ◆社会教育の推進
 - ・ レ・コード館での活動
 - ・ 青少年活動の取り組み
 - ・ 社会体育事業の取り組み
 - ・ 郷土資料館の取り組み
 - ・ 図書プラザの取り組み
- ※詳しくは町広報7月号をご覧ください。

辻本政壽
教育長

教育行政報告

◆6月定例会の全日程

1日目(6月14日)

・ 開会10:00
・ 閉議13:14

- 1 会議録署名議員の指名
- 2 会期の決定
- 3 諸般の報告
(閉会中の諸行事出席状況報告等)
- 4 行政報告(教育長)
- 5 新冠町公平委員会委員の選任について
・・・同意
- 6 新冠町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について
- 7 報告8件
(例月出納検査等の結果報告等)
- 8 議案1件
(新冠町過疎地域自立促進市町村計画の変更)
・・・可決
- 9 議案5件(一般会計補正予算ほか4件)
*行政報告に係る一般質問通告日

休会(6月15～16日) 議案調査日

2日目(6月17日)

・ 開議10:00
・ 閉会15:34

- 1 会議録署名議員の指名
- 2 一般質問(7議員11項目)
- 3 議案5件(一般会計補正予算ほか4件)
・・・可決
- 4 農業委員会委員の推薦について
- 5 発議3件(意見書)・・・可決
- 6 会議案3件(閉会中の継続調査)・可決
- 7 追加議案2件
(一般会計補正予算ほか1件)・・・可決
- * 閉会後全員協議会

人事

公平委員会委員の選任

(全員挙手で同意)

【内容】公平委員会委員切石工さんが平成23年6月26日をもって任期満了となるため、後任委員に北所正視さん(北星町60歳)の選任を同意した。

北所さんは、新冠町農協に長年勤務され、管理部長、参事職を歴任されており、地方自治の事務処理に理解があり、人事行政にも精通され、適任者として同意した。

※公平委員会の職務は、職員の給与、勤務時間、勤務条件に関する措置の要求書を審査及び判定をし、必要な措置を取ることなどで、委員は3名をもって組織され、任期は4年。

選挙管理委員会委員及び補充員の選任

(当選)

【内容】平成23年6月27日に任期満了となる委員4名及び補充員4名を次のとおり選出した。任期は4年。

☆選挙管理委員会委員

山藤 雄一 委員(本町)
梶浦 ひろ子 委員(東町)
佐藤 勉 委員(節婦町)
大谷 壽博 委員(万世)

☆選挙管理委員会委員補充員

① 浅野 文男 さん(北星町)
② 村上 美知子 さん(本町)
③ 竹内 則雄 さん(中央町)
④ 今村 裕 さん(本町)

定例会 一般質問

町政のここが聞きたい

第2回定例会での一般質問は、質問と答弁内容を要約して登壇順にお知らせしています。詳しく知りたい方は、議会事務局及びレ・コード館図書プラザで閲覧することができます。

◎ 『町道の整備計画について』

1 未舗装町道の早期解消を求める



椎名徳次議員

町内を巡回し、町道の整備遅れが地権者から何件も相談があり、農道より町道の未舗装が多いことを痛感したので、町道の整備計画を伺う。

小竹町長 町道の現状は、平成21年度末で実延長271.3km、改良率81.7%、舗装率78.3%で、未舗装部分は58.8kmである。道路維持管理は、職員によるパトロールで確認し、町有建設機械により砂利の補充、路面整正などを行っている。また、未舗装部分に対する補助事業の採択は可能性が低く、財政面から進捗は遅れ気味であるが、年次計画を策定し、整備を進めたい。
椎名議員 整備計画は策定していないということか。

小竹町長 財政状況を考慮しながら、年次計画を策定し、整備していきたい。



未舗装な高江の町道

◎ 『災害から住民を守ろう』

2 住民の生命と財産を守るため、関係機関と十分な協議を

椎名議員 町は、ダムを念頭に入れた防災対策を考えなければならぬ。想定外の地震が発生した場合、ダムは耐えられるのか。町と北電との協議は行われているのか。協議を重ね、安心・安全に地域住民が生活できる対策を考

えるべきではないか。また、地震だけではなく、大雨の災害も考えられる。

平成15年の災害時に、町道新冠堤防線があと20cm程度でオーバーフローする状況と聞いた。住民の生命と財産を守るために室蘭建設管理部と協議を行い、堤防の嵩上げと河川断面の拡張を考え、住民を守ることを第一に全力で取り組んでいただきたい。

小竹町長 ダムの地震に対する設計は国の技術基準により最大加速度700ガルを想定しており、震度との相関関係は、震度7程度で十分な強度を有している。平成23年3月の東日本大震災時の東北電力、東京電力所有のダムは、異常箇所が無く、安全が確保されている。新冠川のダムも、震災の影響を受けていないことを北電に確認しており、定期的な安全点検等も行われている。また、堤防の嵩上げは、平成15年の大雨で築堤天端近くまで水位の上昇があつたため、平成16年度に補強等の要望を河川管理者である当時の室蘭土木現業所に行ったところ、対策を講じる必要性は承知しており、方法等を含めて検討したいとの回答であつた。今後、町民を災害から守ることを最優先課題とし、適切な対応を進めたい。

※ガルとは・・・地震に係る振動加速度をあらわす単位です。

◎『東日本大震災の支援対策について』

3 町独自に義援金を

贈る考えは



鳴海修司議員

先の臨時会で町長は、開町130年・町制施行50年記念事業は計画どおり実施するとともに、東日本大震災への支援は引き続き考えたいとの答弁であったが、当町の大狩部地区、節婦町地区、本町地区は入り組んだ地形ではないが、太平洋に接しており、他人事とは思えない状況下である。また、平成15年台風10号災害に際し、全国より1億2千700万円余りの心温まる支援があった。現状の職員状況や被災地の現況を勘案し、人的支援は困難と思われることから、記念事業の縮小や一部取り止めを再考し、義援金に充てる考えはないか。また、数多くの町民や団体が義援金を寄せている中、今後、新冠町としてどのような支援対策を図ろうとしているのか伺う。

小竹町長 被災地の苦悩を考えた時、自粛の気持ちが芽生え、予定されていた多くの催しや行事が中止されたことは日本国民として当然の行動と考える。

しかし、被災から3カ月が経ち、復旧から復興へ向けて被災地が立ち上がるうとしている時に取るべき行動は自粛ではなく、被災地以外の地域が一刻も早く震災前の活動を取り戻し、被災地の復興を支援することと考える。震災発生当初、取り止めや縮小も考えたが、過度な自粛が復興の妨げになることと、新冠町にとって記念すべき年を町民とともに祝い、これからのまちづくりへの決意を新たにすることに大きな意味があると考え、予定どおり実施する。被災地への義援金は各町の個別事情もあるが、北海道町村会では、岩手・宮城・福島3県に絞り、一町村100万円の負担を目的とし、全体で1億5千万円の義援金を一括して支援している。その他に町独自に義援金を贈る考えはないが、職員の派遣等できる範囲内での支援は考えている。

鳴海議員 復興の目的が立たない中、個人や団体及び北海道町村会の義援金と、新冠町単独の義援金は、別なものとして捉えるが。

小竹町長 北海道町村会の運営経費や支援金は各町村で負担しており、結果的に新冠町の負担でもある。各町が100万円を負担し、不足分を町村会の運営経費から支出するため、町が負担している考えで良いと思う。

4 災害時における

避難路の整備を



中川信幸議員

3月11日に発生した地震を起因とした大津波は、15mとも20mとも伺っている。この様な津波が日高沿線に襲来した場合、新冠温泉に多くの町民が避難すると考えるが、道路が寸断され陸の孤島となるのが想定される。このため、静内地区からの温泉利用対策も含め、西泊津地区町有地を活用した迂回路を整備すべきと考えるが。また、東町地区には行き止まりの町道が多々あり、避難時に混雑し、二次災害の発生も想定される。このため、通り抜けできるように整備すべきと考えるが。

小竹町長 3月11日の東日本大震災で、新冠町には予想高さ8mの大津波警報が発令されたため、本町多目的交流センターに避難した方を中心に緊急的に新冠温泉を避難場所として誘導したが、今回の避難検証により、避難場所の見直しも必要と考える。新冠町が、この様な大津波に襲われた場合、国道は壊滅的な被害を受け、新冠温泉が陸の孤

島になるのは指摘のとおりで、避難場所に指定している節婦神社高台や新冠ホロシリ乗馬クラブ等も同様である。

中川議員 新冠温泉が避難場所になった場合、迂回路を整備する考えがあるのか。今回の大震災で、逃げ遅れて車ごと亡くなられた方の報道等もあり、人間心理として車で避難することも考えられるので、袋小路は早急に整備すべきと考えるが。

小竹町長 防災計画の見直しで、新冠温泉も避難場所に指定する場合もある。その場合、新冠温泉から奥の町道への路線整備は、険しい道なので簡単に整備できないが、今後の西泊津町有地の有効活用を含めて考えたい。町道の袋小路解消は、行政だけでは簡単に解決できない。私有地や既に住宅が建っているため大変だが、今後の検討課題としたい。



解消が難しい東町の袋小路

◎『災害への次なる備えについて』

5 充分な協議・検討を重ねた

新冠町の防災計画の策定を



武田修一議員

新たな防災計画の策定に取り組まれているが、東日本大震災により災害対策の見直すべき点や新たな課題は何か。また、それらの対応をどのように考えるか。認定こども園ド・レ・ミ、新冠小学校、新冠中学校の震災時の対応。また、高齢者の避難をどのように考えるか。**小竹町長** 東日本大震災を受けて、国や北海道は防災計画の見直しに着手しており、これに合わせて、新冠町の防災計画も見直しを行うこととしているが、先行して地震災害対策計画として定めている避難対策計画は既に職員を中心に検証作業を進めている。具体的に、一連の避難対応が終了した後に職員に避難行動に対して、10項目にわたるアンケート調査を行い、1回目の問題点の洗い出しをした。さらに、5月から職員を4グループに分け、質問の点も含めて避難行動及び対応について検証作業を行い、問題点の洗い出し作業と今後の対応等について検討を進め

ている。その後、議会や自治会との意見交換を行い、10月に予定している防災避難訓練までには整理をしたいと考えているので、現時点で具体的な答弁はできない。

武田議員 状況は理解するが、計画策定前に災害が起きたらどうするのか。大きな課題に対する対応策を先に考えることも必要でないかと思うが。

小竹町長 問題点は担当課でも充分把握しており、何かあれば、それを参考に状況に応じた対応をしたい。

◎『地域防災計画の見直しについて』

6 見直しはどの様に図るのか



秋山三津男議員

東日本大震災でほとんどの方が、「自分たちの住んでいる町は大丈夫か」という不安にかきたてられたが、今後、地域防災計画の見直しを具体的にどのように図ろうとしているのか伺う。①本町多目的交流センターに避難された住民を新冠温泉へ移動させたが老人ホーム入所者は診療所2階への避難だった。診療所の方が低いのは。また、他の避難所の海拔は。②診療所等も含めた

避難所の耐震改修状況は。また、旧節婦小学校体育館を避難所としたが、市街地で応急避難所となるのは他にどこか。③避難勧告3千696人に対し、実際に避難したのは909人。この避難状況をどのように考えているか。また、福祉避難所、津波シェルターの用意も必要では。

小竹町長 ①本町多目的交流センター及び社会福祉協議会庁舎は海拔9・7m。新冠小学校2階体育館で8・8m。役場庁舎2階で10・6m。診療所は新冠小学校とほぼ同じ高さである。本町多目的交流センターと診療所2階を比べると診療所が約1m低い。診療所は3階屋上の高さが12・8m程度である。また、本町多目的交流センターからレ・コードの湯への二次避難は、当時の状況判断で行ったもので、避難行動に関わる一連の検証や防災計画の見直し作業の中で、あり方なども検討する。②新冠小学校と役場庁舎は耐震基準を満たしているが、それ以外の施設は用途上、耐震診断の必要がない。また、入院患者がいるため避難所指定をしていないが、診療所の3階が考えられる。③大切なのは、避難率ではなく、町民と共に協力して一人の犠牲者も出さないことで、これを念頭に置き、様々な場面で啓発等に取り組み、意識の向上や避難行動に結び付ける努力と考える。また、福祉避難所等は、今後の防

災計画見直し及び新たな津波避難計画を平成24年度に策定するので、その中で検討したい。

◎『住宅リフォーム助成制度創設について』

7 町の工事量の確保、活性化、住環境の向上のためにも

秋山議員 全国的な経済効果は、把握していると思うが、国の調査で、平成22年10月現在で全国1千328自治体に拡がっており、道内では、121の市町村で助成制度を設けている。減少する工事量の確保、町の活性化や住環境の向上のために必要だと考える。安心安全のまちづくりを進めるために、生活圏を中心とした地域社会の耐震化・防災対策としての見解は如何に。

小竹町長 定住移住政策の一環として、平成19年度から5年間に重点を置き、新築住宅建設等に対する助成制度を創設しており、当初掲げた5年間で住宅建設60戸、定住移住人口140人の目標に対し、昨年度までの4年間で住宅建設61戸、定住移住人口193人の実績となっている。これらの財源は、住宅建設後9年間の固定資産税で8割以上が歳入となり、さらに個人町民税や人口確保による普通交付税への跳ね返りを加味すると、町財政にもプラスの貢献をしている。来年度以降の取り組みは、これまでの成果や制度ごとの評

価・検証等を行い、何らかの提案をしたい。その一つに、高齢化に伴い空き家の増加が懸念されるため、既存住宅をより良質な形でストックし、空き家となっても円滑に流通される仕組みを構築し、高齢者等が安心して暮らせる住まい・環境づくりを推進して行きたいと考える。住宅リフォーム助成制度が、他町で成果を上げている裏付けがあるのであれば、具体的な数値を示していただき、今後検討する制度と考えるが、単なる助成金のばらまきや過度な財政負担とならないよう前向きに取り組む。

◎『町政執行姿勢について』

8 町とつひの様な判断をし、実行するのは

秋山議員 町道中央3号線を農協スタンド側から走行するとT字路に当たると左側正面にカーブミラーが設置されているが、レ・コード館側からの走行車しか見えなく、駅側からの走行車がレ・コード館へ直進した場合、危険である。一方、町道北星2号線の法泉寺付近は葬儀時に駐車する車により道路幅が狭くなり、支線から本線に出る場合に危険である。このため、カーブミラーの設置はいつ頃となるのか。また、住宅密集地の通り抜けできない道路は、地震等により入口付近の家屋が倒壊し道

が塞がれることも想定されるため、救急車両が到着できるよう改善を図る必要があるが、如何か。さらに、北星町には道幅が狭く、行き止まりの道路があるが、道路網の整備検討は如何に。



改善が望まれる町道中央3号線

小竹町長 町道の安全対策は、郵便局員などの情報提供や町民からの通報、地域からの要望により緊急性の高い順に従い実施している。交通安全整備は、現地確認により必要と判断されれば早急に対応する。また、市街地内の行き止まり道路は、町内に7路線ある。これを解消するには、地主の協力が得られた上での道路用地の確保、国の補助制度活用協議、町の財政計画に基づく計画的な整備が必要で、各条件が整理された段階での事業となるので時間を

頂きたい。さらに、北星町地域の町道が交通障害を起している認識はないので、拡幅は考えていない。今後、北星町地内で造成される道路は、道路造成基準により進め、町道認定がされていない場所に個人住宅が建設されている私道は、地主と建主との合意が必要であるため、町側で規制はできない。現状では宅地造成の見通しも不明であるが、将来、地主との協議が整い、道路用地が確保された時点で町道認定を検討する。

◎『サラブレッド駐車公園の管理を受託すべき』

9 観光客を快く迎えるためにも



堤俊昭議員

管理主体とここ数年の管理状況は。③本公園は道から管理を受託し、ホスピタリティを向上させ、町内観光振興の一助とすべきと考えるが。④近年、国道や道々沿いの草刈り回数減少を感じるが、景観は当然危険箇所も多いことから、現状と今後の展望は。

小竹町長 ①本公園には、多くの観光客が訪れることから、平成9年に道が新たな馬産地観光スポットとして建設したもので、現在も多くの旅行ガイドブックやホームページ等で紹介され、人気スポットになっている。②平成5年迄は町が受託管理していたが、それ以降は看板、ワイン樽以外は道が管理。草刈りは年2回、トイレ清掃は毎日、施設清掃は夏季週2回、冬季1回、花壇は適時行っており、各種看板、ワイン樽は町観光協会が管理している。③道の財政事情により、直接管理方式に移行しているため、再度の受託は難しいと考えるが、現状の管理ではイメージダウンになることから、道に対してきめ細かく管理を徹底するよう強く要請する。④維持管理予算が平成19年より大幅に削減され、草刈りは年3回から1回に、道々も2回から1回に減少された。国道は優勝浪漫街道、道々はサラブレッド銀座であり、観光客のイメージダウンにつながることから改善を求めているが、危険箇所以外の草刈りはできないとの回答であるが、今後

も維持管理の徹底を求めていく。



本公園から楽しめるのどかな牧場風景

◎『東日本大震災への支援と自治体間協力について』

10 今こそ市町村が結束する時

堤議員 震災地域復興のためには継続的な支援が必要と考える。さらに、続発する自然災害に迅速に対処するには縦の関係同様、市町村同士の横のつながりこそが重要と考え、次のことを伺う。①被災地（者）は、復興に向けて懸命の努力を続けている。多くの自治体は、職員等の派遣を実施しているが、町村会の要請が無いので必要なしとい

う当町の考えは理解できない。いまこそ、最大の公助の力を発揮すべきと思う。速やかに職員を派遣すべきと考えるが。②当町が締結している災害時応援協定の概要は。③姉妹都市、友好都市のあり方を再考し、災害時応援協定のあり方と提携先を検討すべきと考えるが。

小竹町長 ①自治体間の被災地支援は民間ボランティアとは違い、被災自治体が充分状況を把握した後に支援要請を行うため、一定の時間が必要となる。当町も職員2名を1カ月派遣する準備を進めていたが、派遣要請673名に対して全国から2千600名の申し出があり、調整により、派遣できなかったが、今後要請があった時は迅速に対応できるよう職員の派遣方針は堅持していく。②民間協定は新冠建設協会、郵便局、LPガス協会、北海道ユカ・コーラ(株)と締結している。自治体間では日高町と締結しているが、津波発生時の対応について、海に面する町村同士の連携も含めて、個別自治体間同士の応援協定でよいのか、広域的な災害時応援協定の必要性も感じることから検討を始めたい。③現在、姉妹・友好都市として交流を続けている町村はないが、今後の町づくりの中で、友好自治体の関係ができ、交流の中から災害時の支援方策の取り決めをすることは充分想定できるので、検討課題とする。

◎『子どもの医療費還元制度の創設について』

11 子育て支援事業として、商業振興対策及び町内医療機関受診拡大に向けた活用を



竹中進一議員

新冠町の人口は、全国的傾向と同様に毎年減少している。この現象は特殊出生率に起因するが、平成元年に1・57となった「1・57ショック」以来、

少子化社会が到来し、平成17年には過去最低の1・26となった。内閣府の「少子化社会に関する国際調査」で、「教育や雇用等に不安や不満があり、希望する人数まで子どもを出産できない」と考えている人が多く、「エンゼルプラン」・「新エンゼルプラン」・「子ども・子育て応援プラン」等の施策を国は進めている。新冠町も「子育てに優しい町、安心して出産できる町」として、医療費をポイント換算した地域振興券と交換し、町内経済への循環をうながすとともに、町外医療機関受診者を町内医療機関受診へ奨励するためプレミアムを付したポイント換算制度を導入するなど、子育てに優しい町

として医療費還元制度創設を検討すべきと考えるが。

小竹町長 当町の義務教育期間中の医療費助成は北海道医療給付事業助成金を基準に行っている。今後の事業拡大は、昨年度「過疎地域自立促進市町村計画」を策定時に担当課から提案があり、内部で委員会を組織し、検討を指示した。本年度は保健福祉課を中心に、横断的な検討を指示している。医療費還元ポイント方式による商業振興対策は、手法としては検討するが、町内医療機関受診促進対策としてのプレミアムポイント制度は本来の受診拡大方策としてはなじまないと考える。

竹中議員 全国的に医療費還元制度は多くあるが、道内は少なく、北海道の制度は上乘せが少ないのも一因と思う。「子育てにやさしいまち」のアピールとしてインパクトがあると考えるので、現在の医療費助成制度なども地域振興券で還元し、助成限度額や申請期限を設けず、町内のコンビニ等での利用も可としては。

小竹町長 少子化対策は医療費助成のほか、子育て家庭の水道料金無料化等特色な方法がある。継続性や財政を含めて慎重に検討するとともに、商品券との交換は事務処理方法も併せて検討する。

平成23年度予算 限られた財源を有効に！

5会計総額 5千776万5千円の増額補正

区 分	補正回数	既定予算	6月補正	補正後の額
一般会計	4	5,030,980千円	53,936千円	5,084,916千円
特別会計		2,167,165千円	3,829千円	2,170,994千円
簡易水道事業特別会計	1	328,427千円	▲8,297千円	320,130千円
下水道事業特別会計	1	191,201千円	2,169千円	193,370千円
国民健康保険特別会計事業勘定		808,860千円		808,860千円
後期高齢者医療特別会計		55,525千円		55,525千円
介護サービス特別会計事業勘定	1	297,626千円	10,571千円	308,197千円
国民健康保険診療所事業特別会計	1	485,526千円	▲614千円	484,912千円
総 計		7,198,145千円	57,765千円	7,255,910千円

平成23年度

補正予算の審議

事業予算と質疑Q&A

一般会計(歳出)

【内容】既定予算に5千69万6千円を追加し、5億8千167万6千円とした。

総務費

システムデータの保管は心配ないか？

▼システムデータの管理について

竹中議員 今回の大震災により、システムのデータ保全や設置場所を見直さなければと考えるが。

クラウド方式を検討

中村総務企画課長 大震災後、データの保管方法が問題として浮かび上がっている。町でデータを持ち、札幌市等遠隔地のデータセンターでバックアップを取るクラウド方式を検討している。この方式が実現できれば、設置場所を移す必要はない。

【総務費のその他主な補正予算】

▼学校跡施設再利用支援交付金

869万2千円

民生費

▼緊急雇用創出推進事業委託料について

秋山議員 具体的な業務内容を伺う。

堤産業課長 秋から冬にかけ、河川町道等の環境調査及び整備を行い、雇用創出数は実質5名を80日雇い、延べ400人で、うち失業者は実質4名、延べ320人を予定している。

秋山議員 失業による求職者をどのよう判断で雇用するのか。

堤産業課長 失業者の掌握は、発注業者がハローワーク等で確認し、採用する。

農林水産業費

エコファーマーの認定基準は？

▼環境保全型農業直接支援対策事業

交付金

47万6千円

堤議員 エコファーマーの認定対象農家件数と、支給金の交付要件は。

堤産業課長 ピーマン栽培農家が対象となり、今回1戸の方が農政事務所より認定を受けた。事業量は11・9ヘクタールで、そばと黒豆を栽培した。反あたり4千円の支援内容で、4分の1を町が負担する。

堤議員 この制度は国が認めたものに

町が継続して支援することで良いか。

堤産業課長 今回行う事業内容はハードルが高く、化学肥料や農業を一切使用しない、遺伝子の組み替え技術を使用しない等の認定が必要になる。ブランド化に向けて、農協とも協議しており、直ちに町の負担につながると思っていない。

【農林水産業費のその他主な補正予算】

▼戸別所得補償制度推進事業補助金

320万3千円

▼鳥獣被害防止対策協議会補助金

99万7千円

▼農業用施設維持管理工事

土木費

▼重機借上料について

但野議員 どのように業者選考等しているのか。

坂東建設水道課総括主幹 町内建設業者が所有している機械を時間で借上げ業務を行う方法で、現場に近い業者を選定する。近くに業者が不在の場合は、地区担当業者を定めているため、その業者に依頼する。

【土木費のその他主な補正予算】

▼町道維持補修等工事

消 防 費

▼日高中部消防組合消防署庁舎建設について

中川議員 新ひだか町静内の消防署庁舎建設に伴う消防本部分の費用負担はあるのか。

小竹町長 建設費にかかる負担はない。

一 般 会 計 (歳入)

▼収入印紙及び北海道収入証紙販売収入等 (雑入)

74万5千円

中川議員 収入印紙等の販売は、一般の町民でも必要な時は購入できるのか。山下町民生活課総括主幹 7月から開始するパスポート業務に限り対応する。

歳 出 歳 入 全 般

被災地の子ども達に元気を与えてほしい

▼町観光協会補助金 (総務費)

10万円

堤議員 どのような内容で被災地の子どもたちを励ますのか詳細を伺う。

中村総務企画課長 体験ツアーで実施を検討したが、NPO法人と連携した方が最も効果的と考え、今後、事業内容等を検討したい。

堤議員 NPO任せではなく、今回の応援が将来的に地域間応援協定の実現につながる発想を持つべきと思う。小竹町長 今後、充分協議検討したい。※NPO法人とは・・・民間で公益に資するサービスを提供する営利を目的としない団体とされ、特定非営利活動法人とも呼びます。

▼スポーツ振興くじ助成金 (雑入)

▲291万8千円

▼総合型地域スポーツクラブ補助金 (教育費)

▲50万円

寺田議員 歳入は事業不採択による減。歳出は対象事業経費の見直しによる助成金減であるが、これにより影響を受けた事業等は何か。また、不足する財源はどのように対応するのか。辻本教育長 ウィンタースポーツフェスティバル、各種スポーツ教室の開催等に影響があるが、今年度は事業内容や備品購入等を精査し、不足分は一般財源で対応する。

簡易水道事業特別会計

【内容】 既定予算から829万7千円を減額し、3億2千13万円とした。

下水道事業特別会計

【内容】 既定予算に216万9千円を追加し、1億9千337万円とした。

介護サービス特別会計

【内容】 既定予算に1千57万1千円を追加し、3億819万7千円とした。

国保診療所事業特別会計

【内容】 既定予算から61万4千円を減額し、4億8千491万2千円とした。

追加した議案

平成23年6月17日 追加議案2件

請負契約の締結

議会の議決が必要な工事請負契約 (予定価格5千万円以上) が提案され、挙手多数で原案のとおり可決した。

◎新冠第二地区簡易水道拡張事業取水・導水施設工事 (太陽) 請負契約の締結

—内容—

契約方法 指名競争入札

契約金額 5千40万円

相手方 株式会社 梶浦組

我妻議員 落札率は。

道政建設水道課長 97・7%である。

我妻議員 一般競争入札へ移行する考えは。

道政建設水道課長 地元企業育成の観点から、指名競争入札と考えている。

秋山議員 業者の指名方法は。

道政建設水道課長 平成23年度の建設工事等資格審査会及び入札参加者指名選考委員会において決定している。

中川議員 不落業者との開きは。

道政建設水道課長 落札業者97・7%に対し、99・6%に相当する額。

中川議員 今後、議決を要する工事案件は、落札率を1社ずつ開示してはどうか。

道政建設水道課長 それも適当かも含めて、検討したい。

竹中議員 公表は、ホームページで行うべきと思うが。

道政建設水道課長 入札等の情報は、町広報等に掲載可能かも含め検討したい。

平成23年度補正予算

一 般 会 計

【内容】 既定予算に324万円を追加し、総額を50億8千491万6千円とした。

商 工 費

▼新冠温泉備品購入費について

中川議員 新冠温泉との協定で、備品や設備等をどの程度まで町が負担しな

ければならないのか。

堤産業課長 今回購入する備品は非常用照明電池であり、老朽化で交換が必要となり、運営面ではなく、管理面の問題であるため、施設管理者の立場で町が持つ。

(反対・賛成討論があったが、
挙手多数により原案可決)

その他の案件

第2回定例会

平成23年6月14日～17日

報告 (受理)

◎例月出納検査の結果報告

監査委員から次のとおり報告があった。

【内容】平成23年4月分までの検査調査の計数と関係諸帳簿、証書類により審査を行い各金融機関の預金残高を確認照合した結果、各会計、基金及び歳入歳出現金について、計数上の誤りは認められない。

◎出資団体・公の施設の指定管理者の監査結果報告

【内容】有限会社日高軽種馬共同育成公社・有限会社にいかっぷホロシリ乗馬クラブを5月26日に、株式会社新冠

ヒルズ・新冠町デイサービスセンターの指定管理者(社会福祉法人新冠ほくと園)を6月3日にそれぞれ監査を実施。関係諸帳簿により計数審査を行い各金融機関ごとの預金残高を確認照合した結果、誤りは認められない。

◎第3セクターの経営状況の報告

【内容】地方自治法の規定に基づき、平成22年度事業の決算報告及び23年度事業計画の報告があった。

- ①有限会社にいかっぷホロシリ乗馬クラブ
- ②株式会社新冠ヒルズ
- ③有限会社日高軽種馬共同育成公社

◎繰越明許費繰越計算書の報告

【内容】平成22年度予算を23年度へ繰越した確定額等の報告があった。

▽一般会計

「ピーマン重量選別機導入事業補助金」

「新冠温泉冷暖房設備改修工事」
「新冠中学校給水配管等改修工事」等の17事業

合計 2億4千708万5千円

▽介護サービス特別会計

「増床棟スプリンクラー設備新設工事」

「ショートステイ棟スプリンクラー設備新設工事」等の3事業
合計 1千323万5千円

◎事故繰越し繰越計算書の報告

【内容】東日本大震災の影響で物流が停止し、部材の供給が年度内に間に合わず、完了しなかったため事故繰越しをした報告があった。

▽一般会計

「平成22年12月26日大雪被害
ハウス復旧補助金」
780万4千円

堤議員 作付けが大幅に遅れたことによる影響は。

堤産業課長 生産者からは一部に影響が出たが、別な作物で補うと聞いている。

◎建設改良費繰越計算書の報告

【内容】平成22年度予算を23年度へ繰越した確定額等の報告があった。

▽国保診療所事業会計

「スプリンクラー設置工事」等の2事業
合計 1千270万円

その他

◎新冠町過疎地域自立促進市町村計画の変更

(全員挙手で原案可決)

【内容】過疎地域自立促進特別措置法第6条第7項の規定により、この計画による事業の実施は、財政上の特別措置を受けることが可能となるが、本年度新たな事業を追加する必要が生じた

ことから、計画全体に影響が及ぶため、議会の議決を求めるもの。

意見書の提出

―町民の声を国政に―

議員提案により次の意見案が提出され、原案のとおり可決し、政府関係機関に提出しました。

□地方財政の充実・強化を求める意見書

□義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善、就学保障充実など2012年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書

□北海道地域最低賃金の大幅な改善を求める意見書

議会を傍聴してみませんか

町政はあなたのために。
次の定例会は、9月中旬に開会の予定です。

手続きは、4階の傍聴者名簿に住所・氏名を記入するだけです。

日程については、議会事務局までお問い合わせください。
(電話47-2559(直通))

委員会の活動状況

平成23年4月1日から7月31日まで

議会運営委員会

○6月13日

・第2回定例会の運営

総務産業常任委員会

○6月14日

・町道美宇東川線の未処理用地

○7月27日

・ピーマン重量選別機の導入状況
・財産の処分ほか6件

社会文教常任委員会

○5月31日

・高齢者等買物支援事業
・新冠町住宅用火災報知機購入助成事業の実施状況

○7月26日

・公共施設の利活用状況
・新冠町子ども発達支援センターの開設準備状況ほか1件

議会広報特別委員会

○5月27日

・議会だより第184号の編集

○7月14日

○7月21日

・議会だより第185号の編集

議員研修会に参加

7月5日～6日、札幌市にて改選後の新体制で初の議員研修会に参加しました。

研修期間中は各議員が新冠町民代表として自覚と、緊張感を持ち、熱心に研修に取り組みました。この研修を機に議員としての資質をさらに高めて参ります。

○北海道町村議会議員研修会

期 日 7月5日

会 場 札幌コンベンションセンター

出席議員 11名

研修内容 ①「今後の政党政治の行方」
東京大学先端科学技術研究センター教授 卸厨 貴氏

②「今後の日本経済の展望」
経済評論家 内橋 克人氏

○議員研修

期 日 7月6日

視察先 ①札幌市消防局

②北海道町村議会議長会
(北海道自治会館内)

札幌市消防局では消防救急無線のデジタル化と消防司令業務について研修しました。現在の消防救急無線のアナログ周波数は、電波法の改正により、平成28年5月31日までの使用期限とされ、新たにデジタル周波数による施設整備が必要とされています。総務省消

防庁では経費削減を図るため消防指令業務の広域運用を求めています。研修当日は、札幌市における指令業務の実態等を視察しました。



年間11万件以上の通報を受ける指令情報センター室



研修に取り組む議員達

北海道町村議会議長会では、議員としての心構えなどを研修しました。

新冠町を語る会を開催

今年は9名の参加

7月12日、新冠温泉レ・コードの湯で新冠町議会議員OB会（会長 佐々木正、会員18名）の総会が行われました。その後、開町100年（昭和56年）を記念に作成した「豊かなふるさと新冠」を上映し、参加者皆さんがなつかしい思いに浸りながら、瞳輝かせ、昔話に花を咲かせるものとなりました。現職議員一同、先輩方の益々のご発展ご健勝を心から祈念いたしております。



『こころ』～わたしと朝日小学校～



☆字朝日 学校教諭 日比野 美鈴さん(写真中央)☆

わたしが新冠にきたのは、今から4年前。ちょうど、翌年に学校統合を控えた年でした。「小さな学校からバスで通って来る子どもたちのために力を尽くしたい!」「子どもたちの瞳輝く、理想の学校を作りたい!」そんな燃えるような情熱だけは人一倍でした。

あれから4年。自分はまだまだ精進する必要がありますが、子どもたちの瞳の輝き、保護者・地域の温かい協力。こんな学校が日本にはまだあるんだ!そんな思いで毎日を過ごしています。3月11日の大震災で、わたしの故郷宮城県も大きな被害に遭い、今でも原発の恐怖にさらされています。こんな時代だからこそ、朝日小学校ならではの教育、そして自然と共生するこの地域の教育的役割が見直されてしかるべきではないでしょうか。未来に生きる子どもたちのために、本当に大切なことを教え、育む学校…。わたしはそんな可能性広がるこの学校、そしてこの地域が大好きです!

～『こころ』では町民の声として300字程度の執筆を募集しております。住所、氏名、職業、電話番号等を明記のうえ、議会事務局へ郵送、FAX等でお送り下さい。採用する方には当局より連絡させていただきます。～

議 長 芳 住 革 二	発行責任者				議 会 広 報 特 別 委 員 会
	委 員	委 員	委 員	副 委 員 長	
	秋 山 三 津 男	椎 名 徳 次	竹 中 進 一	但 野 裕 之	
				堀 俊 昭	

今号のあとがき担当
但野 裕之

topics 議会の話題

「天皇陛下お手播き苗木」記念植樹

～～未来後世に残してゆきたい～～

6月17日、第2回定例会閉会后、開町130年・町制施行50年記念事業として、判官館森林公園内に、天皇陛下がお手播きされたイチイ苗木の記念植樹を行いました。

議員全員この植樹にかける思いは一つ、1日でも早く美しく、大きくそして力強い樹木として育ち、町民の皆様にも長く愛され、親しまれてほしいと願っております。



あとがき

- ▽東日本大震災発生から5ヶ月が経ち、国民一丸となつての復興の中、女子サッカーなどでシージャパンがワールドカップ優勝。
- ▽明るい話題で日本中が歓喜の嵐。力強い復興への後押しとなることでしょう。
- ▽今号から『議会のうごき・議長の動向』に変わり、新たに町民の声『こころ』を掲載することになりました。
- ▽町民皆さんに、より親しまれるよう努力しますので、紙面に対してご意見ご感想をお待ちしております。

この議会だよりは、会議録に基づいて議会広報特別委員会が内容を要約し掲載しています。詳しい内容をお知りになりたい方は、新冠町議会の情報は町ホームページでご覧いただけます。また、レ・コード館図書プラザに「閲覧用会議録」を配備していますのでお気軽にご覧ください。【年4回発行】

